

平成二十二年春号

曹青かわら版

平成22年4月26日

山口県曹洞宗青年会
会長 大野 泰生

「平成二十二年総会」報告

四月十二日(月)、周南市「青山」にて平成二十二年総会を開催いたしました。

三教区楞嚴寺田中康道老師を議長に、二十一年度事業報告・会計決算ならびに監査報告・二十二年度事業計画・会計予算等について議事を行い全会一致で承認されました。

なお、総会後に初老を迎えられた会員七名の祝賀会が行われました。本年度初老を迎えられた方は次の方々です。



三教区	浄光寺	國長克聰師
三教区	原江寺	有馬嗣朗師
四教区	正法院	中村充宏師
七教区	天龍寺	河口徳隆師
八教区	円満寺	清成泰典師
十二教区	西宗寺	西村和茂師
十三教区	保福寺	永廣重元師

諸老師方からご教授いただいたことを今後の曹青活動に反映できればと思います。長い間ありがとうございました。合掌。



祝賀会での宗務所長ご挨拶



■「全国曹洞宗青年会中国管区

電話相談員養成基礎研修会」報告■

副会長 清成良知

去る二月十八日(木)～十九日(金)岡山県円通寺様を会場として開催されました。

現在第十八期全曹青が基幹事業として取り組んでいるのが電話相談事業であります。

受話口を通して聞こえるいのちの声に耳を澄まし孤立を感じている人を一人でも減らして、より具体的な世間苦と向き合うことを目指したこの事業。電話相談員を養成する独自のプログラムを作成して多くの会員諸師に当該事業に参画出来るよう各管区での研修会が開催されております。

二日間で六講義設けられ、他己紹介(二人一組になり相手のことを皆に紹介)や、ロールプレイと言われる二人ずつのグループになり相談者、電話相談員、観察者(スーパバイザー)に分かれて実際の電話相談をシミュレーションする実践研修であつたりと、段階的に講習できるよ

うに組み立てられた内容の濃い研修で
ありました。この研修を通して相手の話
に耳を傾ける傾聴の重要性が説かれま
したが、これは「同事」に繋がるもので
あることを感じました。

今年の十一月十一日(木)～十二日
(金)には中国曹洞宗青年会 山口大会
が山口市で開催されますが、大会第二
日目に青年会員を対象にしました全曹
青の電話相談事業の講義が開かれる予
定となっております。

基礎研修をまだ受講されていない会員
諸師には六月にも九州管区で開催され
ますので、その事前研修としては是非講
して頂きたいと思う研修会でありました。
(山口曹青参加者二名)



今年の6月21～22日(月、火)に
博多の明光寺で研修会開催予定です。

■「寺庭婦人セミナー」報告■

九教区 梅岳寺徒弟 末武正憲

二月二十三日(火)、一教区源久寺様に
於いて寺庭婦人セミナーを開催しました。
午前中は、田布施町の菓子職人大下充
億氏に「アフリカでみつけた新しい社会の
暮らし方」と題
して講演を頂
きました。

氏は若い頃、
単身でアフリカ
へ行き、そこで
農業に従事す
る若者を見て
思ったそうです。

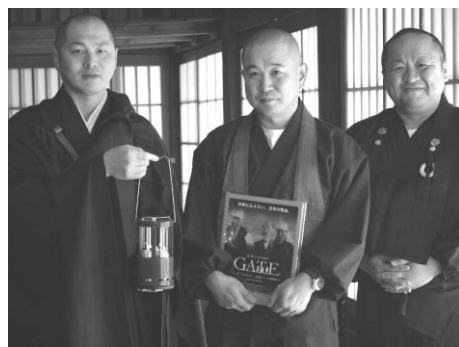
「日本では外国



の食べ物安く手に入るけど、そのしわ
寄せとして、従事する人が休む暇もなく
只同然の賃金で働かされている。」「貨幣
経済による格差を感じられたそうです。
そんな中、本当に幸せそうに暮らす家
族に出会いました。その一家はお金とは
無縁の、自給自足の生活を営んでいる家
族でした。ここで「幸せとはお金を稼げる
ことではなく、本当の意味で自分の力で

自分を支えることが出来ること」と思う
ようになったそうです。それから帰国し
て、「今の日本で完全にお金と無縁の生
活は無理だからせめて自分で出来ること
は自給して出費を減らそう」という理念
のもと、一日の半分は農業に勤しみ、も
う半分は稼業に費やす「半農半菓」とい
うライフスタイルを実践されています。

「幸せとは何か」を考えさせられる意義
深い講演だったと思います。



中食を挟ん
で、午後から
は映画「GA
TE」の上映
が行われまし
た。広島に落
ちた「原爆の
火」を、二千
五百キロの行
程を行程し

ながら核根絶への理解を深めつつ、原爆の
生まれたアメリカの核実験場に戻して消
すことにより悲劇を繰り返さないように
誓うというドキュメンタリー映画です。ま
た、上映にて得られた収益で核兵器を買
い取り解体しようという試みでもありま
す。この映画で、アメリカにも核実験によ

つて被爆した人が大勢いることを知りま
した。この試みによって一つでも多くの核
兵器が解体されることを願って止みませ
ん。

(参加者三十名)

■「涅槃会坐禅会」報告■

一教区 妙鑑寺徒弟 中村通良

二月二十三日、源久寺様を会場に、
「寺庭婦人セミナー」閉会后、「涅槃会坐
禅会・新年懇親会」を開催しました。

坐禅会は短い時間ではありませんが、
ひっそりと静まり返った法堂で坐禅を行
い、集中した一時でありました。

坐禅の後、涅槃会の法要を行いました。
ここでは「差定と配役を前もって決めてお
いたほうがよい」という反省点が上が
り、次回に活か
していければ
と思いまし
た。

法要後は
新年懇親会
ということで、
青年会員で
鍋をいただき



ました。まだまだ寒い季節でしたので、皆
でおいしくいただきました。典座の方々
に感謝です。



その途中、先の「寺庭婦人セミナー」で
見た「GATE」のDVDと一緒に届けら
れた「原爆の火」のランタンの燃料カート
リッジを交換しなければならなくなり、
交換の際に火が消えてしまう事件が起
きました。別に取っていた火が残ってお
り、事なきを得ました。

この火はDVDと一緒に次の会場に届
けなければならぬので、会長さんは「心
臓が止まるかと思った」とおっしゃって
いました

(参加者二十一名)

●シャンティ学生寮訪問視察報告●

五教区 安禅寺徒弟 村上 邦明

現在、山口曹青では県内寺院や檀信
徒の皆様のご協力のもとタイ山岳民族
教育支援活動として毎年二百五十万円
の支援を行っています。去る三月四日か
ら九日の六日間の日程でタイ・パヤオ県
にあるシャンティ学生寮、近郊のセンサイ
村そしてバンコク市内のSVAバンコク事務
所へ四名で訪問しましたので報告させて
いただきます。

まずセンサイ村ではSVAの八木沢克昌
氏の案内で図書館を見学しその後保育
園を訪問しました。保育園では休日にも
関わらず村長さん、先生、園児、近隣の
女子中学生
等多くの皆
さんからの歓
迎を受けま
した。曹青か
らは共に旅
行に参加さ
れた小室公
寛師が持参
されたクレパ



ス等の文具を保育園に寄贈しました。

センサイ村を発ち一泊二日の日程でシヤンティ寮を訪問し卒業式に参加しました。十一名の寮生が卒業されるとのことでは寮生が企画した楽しい催しあり、感動的な催しありと有意義な時間を過ごしました。また曹青からは卒業生へ記念品、寮へはタオル等の日用品を寄贈しました。卒業式終了後には寮生と日常生活や家庭環境、今後の夢などについて話す機会が持てました。

シヤンティ学生寮訪問の翌日SVABangkok事務所を訪問し、事業内容の説明を受け、意見交換を行いました。またSVABangkokの皆さんが支援事業を行っておられるBangkokスラム街を視察させていただきました。スラム街の住環境、衛生環境は決して良好なものとはいえませんが、そこで暮らす子供達の笑顔が輝いていたのが印象的でした。

今回の訪問を通じて、私は寮生達の学ぶことに対する真摯な姿勢を目の当たりにして、支援活動が活かされたお金として活用されていると強く感じました。

また、寮建設に当時から携わってこられた諸先輩方の熱意と行動力をしっかりと受け継ぎ支援活動を継続していきたい

と感じました。

今回の旅で私は寮生の学ぶことに対する真剣な姿勢、子供たちの笑顔、シヤンティ寮に携わった方々の情熱という宝物をいただいたような気がします。是非とも、また訪問したいと思っています。



【シヤンティ寮の現状】

シヤンティ寮の視察では、子どもたちに直接声をかけたり、寮の施設の状況確認を行っています。今年度は建物のシロアリ被害や、水のくみ上げポンプの故障など、生活に直接結びつくものがありました。竣工以来年数がたっており、あちこちの小修繕がこれからの課題になりそうです。寮の様子はシヤンティ山口のホームページでも報告されていますのでご覧ください。

《物品提供の報告》

八教区 福王寺 小室公寛

出発三日前にタオルや石鹸、文房具などを集めるお願いの手紙を檀家さんや園児に配ったところ、前日までにダンボール五箱くらいのものが集まりました。中でも鉛筆(使用済みも含む)は約五百本も集まり、子どもたちにとっても喜ばれました。保育園では色鉛筆、クレヨンなどが特に喜ばれました。また、タオルや石鹸、洗剤

(参加者四名)

などは寮に寄付しました。タオルを持っていくのにはかさばるので真空パッケージに



センサイ村の保育園での文具寄贈の様子

シャンティ寮の前で寮生たちと一緒に



入れ込んで小さくしてたくさん持つていくことができました。

なお、集まったものは以下の通りです。

タオル、石鹸、洗剤、鉛筆、色鉛筆、ペン、クレヨン、けしごむ、えんぴつけざり、定規、ペンケース、ハーモニカ、ノート

■「ボランティア講演会」報告■

一教区 観音寺 森江裕孝

三月十六日(火)に一教区龍福寺様を会場にさせていただき、シャンティ山口と山口曹青の共催で、安井清子さんのボランティア講演会を開催しました。

安井さんはSVA職員としてラオス難民キャンプ(タイ領内)に入り、子ども図書館活動、さらには後にライフワークともなるモン族の民話の収集、継承にも取り組みられました。その後、ラオスに移り、東北部の山村で村人たちと一緒に手作りの図書館を建て、子ども図書館を立ち上げられ、現在でも活動を続けておられます。

講演会ではラオスの山村での子どもたちの生活の様子が写真で紹介されました。親が家にいなくても水汲みや家畜の

世話、自分たちの食事を作ったりと、日々生きるために仕事をする子どもたちのたくましさ、生きる力に感じ入りました。日本は利便性や快適さを極度に追求した社会で、経済的に豊かであれば生きる努力をしなくても毎日何とか生きていけると思います。それがかえって子どもの本来持っている生きる力や、日々の生活から学ぶべき大切なことを阻害しているのかもしれない。

安井さんの活動に関心のある方はホームページをご覧ください。「安井清子」または「ラオス 山の子ども文庫基金」で検索できます。(参加者三十五名)



安井さんの後ろに掛かっているのは、モン族の歴史を描いた色鮮やかな大きなタペストリーです。

●タイ山岳民族教育支援

電話090-7592-6296

●募金クラフト販売状況●

二月四日 戒弟のつどい	
クラフト売上	6,600円
三月六日 四教区心の大学	
クラフト売上	338,70円
募金	31,205円
三月十六日 ボランティア講演会	
クラフト売上	1,500円
募金	100円

今後ともご協力よろしく願います。
クラフトはご寺院様の諸行事にぜひご利用ください。ご一報くだされば、会員が販売に参ります。また贈答品などにもご利用いただけます。

【連絡

先(担
当) 欣
慶寺野
坂正道



【今後の行事案内等】

大寧寺授戒会

五月七日(金)～十三日(木)

十一教区大寧寺

全曹青禅文化学林

六月十一日(金)

静岡県掛川市 ヤマハリゾートつま恋

電話相談員養成基礎研修会

六月二十一日(月)～二十二日(火)

福岡県博多市 明光寺

緑蔭禅のつどい

七月開催予定

広島原爆平和公園慰霊法要・研修

七月八日(木) 《鳥取曹青企画》

広島県 平和記念公園

徒弟研修

七月二十二日(木)～二十三日(金)

県内 萩、長門方面

*詳細の決まりましたものは改めてご

案内させていただきます。

中曹青 山口大会予告

本年の中国曹洞宗青年会の大会は

山口曹青の主管で行います。素晴ら

しい大会にしたいと会員一同頑張っ

ています。

今大会では「笑点」

でおなじみの桂歌丸

師匠を御呼びしまし



た。一般公開のチャリティ寄席を行

います。本年十一月十一日午後一時

半より山口総合保険会館で行います。

(四時終了の予定) 入場無料です。

詳しくは改めて連絡させて頂きます

のでご協力宜しく願います。

是非お檀家さんお誘い合わせの上

問い合わせ先

山口県曹洞宗青年会事務局

大島郡周防大島町久賀二〇二九―二

久屋寺(六教区)

電話〇八二〇―七二一―〇四一

ファックス〇八二〇―七二一―〇一〇

おいで下さい。お待ちしております。

